

令和元年度 自己評価・学校関係者評価

令和2年3月30日
静岡なかはら幼稚園

1 幼稚園の教育目標

いきいきと やる気を持って 遊ぶことができ 自立心のある子どもに育てる

2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

- 1、明るく健康な子に（あいさつ、おはよう・ありがとうなど）
（体をいっぱい使ってあそぼう）
- 2、自立心があり周りの人のことをよく理解できる子に
- 3、身の回りの事物に関心を持つ子に（自然との関わり、園外に多く出る）
- 4、言葉をよく理解して上手に使える子に（お話をしっかり聞く、話す）
- 5、積極的に表現できる子に（自分の思いをことばや絵に）

3 評価項目の達成及び取組状況

※関係者評価の欄に記入してください。

よい 努力したい
A－B－C－D 4段階

評価項目	結果	理由	関係者評価	意見
① 保育の計画性	B	経験のある職員が声を掛け合い、大きな行事を早めに立案できたものもあり、昨年より余裕を持って進めることができたように思う。月案・週案・日案はたてているものの、保育は、計画通りに進まないことも考慮しながら、計画を立てていく必要があると思われることが度々あった。	B	・教育者は、心にゆとりを持って。
② 保育のあり方 子どもへの対応	B	個々の育ちや問題を、担任や学年担当者は把握していても、全職員への周知ができないことがあった。勤務体制の問題も関わってくるが、改善策を考えたい。一人の子どものことを、園全体のこととして捉える認識の薄さが問題の一つかと思う。担任は、一人一人の子どもをよく見て、一人一人に合わせたかかわりをするよう努力してくれていたと思う。子どもの育ちや育ってきた環境、個性等について、多くの視点から観察をし、意見交換をし、より子どもを知るようにしていきたい。	B	・一人一人への教育でなくても、子どもたちはいろいろ見て学んでいると思う。

③ 教師としての資質能力、適正など	C	<p>本年度も、経験のある職員への業務負担が多かったように感じる。また、報告・連絡・相談がうまくできない職員が固定してきているので、個別に指導していく必要があると感じる。特に経験の浅い職員には、積極的に研修へ参加し様々なことを学び、保育者としての資質はもちろんのこと、人間性を高めて欲しいと願う。今後、職員一人一人が、様々なことを自分のこととして考えながら協力し合えるよう、コミュニケーションを深めていきたい。また、危険予知や危機管理に対する意識をきちんと持つと共に、提出物の遅れ、社会人としてのマナー等、見直さなければいけない点があることは事実であると感じる。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方は、個性ある人間（子ども）と接していますので、ご指導の大切さを感じています。 ・先生方は、子ども達に積極的に関わってくれていると思う。
④ 保護者への対応	B	<p>園の方針を理解し協力して下さる保護者が増えたように感じる。園の考えを理解して頂くとともに、よりよい方向に進んでいけるよう努力をしていきたい。また、1号認定のご家庭でも就労している方は多いので、今後も園の方針は守りつつ、保護者からのご意見を参考にさせていただきながら、保育を進めていきたい。</p> <p>気軽に職員へ声をかけて下さる保護者も多いが、遠慮されている方もいらっしゃることを忘れずに、気を配っていきたい。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方々は常に我が子へ目がいっています。「集団生活の中の自分の子」を観察してもらうことも良いのでは。
⑤ 地域の自然や地域との関わり	B	<p>田植えや稲刈りで他園と交流をすることができ、貴重な経験をすることができた。また、昨年度に引き続き、大里中学校3年生の家庭科の授業を受け入れ、子ども達は非常に楽しんでいました。聴覚特別支援学校幼稚部との交流保育、中学生の体験学習の受け入れ、公園清掃等、地域の方とのかかわりが持てるよう取り組んできた。乳児組は、園外への散歩の機会が多くあったが、幼児組は散歩に出掛けたり畑に行ったりすることがほとんどなく、見直していきたい点である。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな体験をさせてもらってありがたい。親が主体の体験があっても面白いと思う。
⑥ 研修と研究	A	<p>幼稚園・保育園問わず、様々な研修会に参加させていただけるため、広い分野で学ぶことができたと思う。研修で得た知識や情報を再</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の範囲で十分に努力をしてください。

		確認し、共有したり提供したりすることができた。せっかく得た知識や情報を今後さらに、保育に生かしていけるようにしたい。		
⑦ 外部アンケート	A	未就園児対象の催し物では、昨年同様、参加者が少なかったように感じた。しかし、参加して下さった方々からは「楽しかった」「こういう場はありがたい」「家でできないことができて良かった」等の感想をいただいた。運動会や発表会、ゆめのひろば（総合活動）等では、「運動会から発表会の数カ月で大きな成長を感じた」「子ども達の一生懸命な姿に感動した」「下の子を預かってほしかった」「下の子も一緒に観られて良かった」「園内で、友だちと関わる様子や大きい子たちに声をかけてもらう様子がみられて良かった」「自分自身（保護者）も楽しめた」等の感想をいただいた。これからも、子ども達にとって何が大切かを第一に、保護者と園とが協力していきたい。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・安全第一。 ・教師、子ども、保護者一体で。

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

各学年とも重点課題は、ほぼ達成できたように思う。劇遊びやごっこ遊びでは、表現する楽しさを感じてくれたようだが、お話を聞くことや観ることが苦手な子どもが多いことが気になる。また、自分の思いや考えを自分の言葉で表現することや、生活や遊びの中で考えて試してみることを大事にしていきたい。園外保育で貴重な経験をしたり、園内の豊富な自然に興味関心を持ち遊びに取り入れたりして、様々な経験をしてきたが、ここ数年課題と感じている、歩くことに慣れていない子どもが多いということを念頭においての保育の実現が難しかった。職員が共通意識を持つようにしたい。引き続き、気持ちの良い挨拶が出来るよう、心掛けていきたい。

10月初め、年長でインフルエンザの流行により学級閉鎖を実施した。それ以降、インフルエンザ等の感染症の流行はなかった。季節を問わず、感染症対策へ細心の注意を払うようにしたい。

課題	具体的な取り組み方法
指導計画の編成	子ども達に様々な経験をさせたいと願うあまり、幼児は特に行事に追われてしまうこともある。このことは毎年頭を悩ませながらも、いまだ改革ができていない。今の子ども達にとって、大切なことは何かを今一度考えたい。また、全職員の教育・保育観、保育に対する姿勢、行事に対する具体的なイメージの統一がより一層望まれる。
園外保育	園バスだけでなく、徒歩での園外保育も積極的に取り入れていきたいと思いつつも、ほぼ実施することができなかった。園バスで出掛ける園外保育も、教

	<p>育課程を考えるうえで大切なことだと感じるが、遠くに出掛けるだけでなく、園の近くで散歩を楽しむことも、考えていきたいと思う。</p>
<p>仕事の効率化に向けて</p>	<p>今年度は、新富町こども園引き継ぎ保育の為、職員が大勢いたが、来年度はかなり厳しい状況になることが予想される。職員の負担を減らすため、行事の見直し、書類の見直し、業務分掌の見直し等を進めていきたい。また、仕事の優先順位を考えたり、教材研究をきちんとしたうえで保育準備を進めたり、報告・連絡・相談を密に行い、仕事が無駄にならない努力・工夫をしたい。</p>
<p>満3歳児保育の充実</p>	<p>3歳児1号認定児（幼稚園）数が、減っている。静岡市内のいくつかの園でも、3歳児の入園が減っていることを耳にする。保育料の無償化や働き方改革の影響もあるのか、他園の様子を聞くと、満3歳児（3歳の誕生日を迎えた翌日から入園できる）が多数在籍しているケースが多い。保育室や保育教諭確保の問題はあるが、満3歳児を積極的に受け入れ、充実させていく必要があると考える。</p>
<p>評価委員からの コメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の子どもは、生まれるとすぐ教育を受けている感じがします。もっと、のんびり、やわらかく、ゆったりした「子どもの過ごし方」があってもいいのではと、感じています。 ・多くの子ども達に対応しなければならず、業務も多種多様で大変だと思う。 ・本年度より、徒歩での降園がなくなり、相棒さんとの関わりが少なくなってしまい、「上の子が下の子をみる」ということができなくなって残念に思う。安全面の観点から中止したと思うが、時々実施してほしい。 ・今後も、園外保育等で、いろいろな体験をさせてほしい。